

自衛官募集のご案内

「平和を仕事にする！」その誇りがあります！

皆さんは、自衛隊の仕事を知っていますか。

「国の平和と独立を守る」という重要な使命のもと、わが国に対する侵略行為には即座に対応し、自然災害には人命救助や生活支援に尽力する。さらに、国際社会の平和と安定のため、海外に赴いて人命救助や復興支援などに貢献しています。

自衛隊は3種類

陸上自衛隊

15万人の隊員が日本の平和と独立を維持すべく、日夜任務に励んでいます。万一、国土への侵略があった場合には、防衛の中心的な役割を担います。



海上自衛隊

海洋国家である日本の国土防衛の最前線で活躍し、平素からわが国の安全保障に影響を及ぼす事態に適切に対処するとともに、生命線である海上交通の安全確保に努めています。



航空自衛隊

航空作戦は、戦況の優劣を大きく左右する重要なミッションです。日本の領域を侵犯する航空機や弾道ミサイルなど、空からの脅威を未然に防ぎます。



活躍するフィールド

さまざまな形で社会に貢献できる、幅広いフィールドがあります。

自衛隊には多様な働き方（コース）、多くの仕事（職種・職域）があり、自分の興味や得意分野を生かしながら、一人一人がイメージする「将来の自分」を実現できる幅広いフィールドがあります。

例えば、
部隊や艦艇、航空機が行動する
場合には、

部隊などが行動する前に

情報

必要な情報の収集や処理・分析を行い、必要な所に必要な情報を提供します。

部隊などが適切に行動するために

管制

航空機の離発着を円滑に行うため、飛行場の管制塔で離着陸する航空機の管制を行います。

通信

部隊間の連絡・情報共有のための通信手段を確保します。

部隊などが継続的に行動するために

会計・経理

必要な物品の調達などを行います。

補給・輸送

物品を保管し、需給を統制します。
部隊などに必要な物品を輸送します。

衛生

病気や怪我をした隊員の治療や、医療施設への搬送を行います。

整備

装備品が適切に動くよう、装備品の整備・修理などを行います。

このように、自衛隊の行動は様々な仕事に係ることで成り立っています。

可能性をカタチにする多種多様なコース

自衛官になるといっても、その仕事や進路は多種多様。
希望や特性に応じて、最適なコースを選択することができます。

希望・特性	区分	特徴
大学など		幹部候補生 (一般、歯科・薬剤科) 採用とともに自衛官(曹長)となり、幹部候補生としての教育(約1年)を受けた後、幹部自衛官(3尉 [※])となる。 <small>(※)院卒者試験による採用者、歯科・薬剤科は2尉</small>
		防衛大学校学生 幹部自衛官を養成するコース(4年)。卒業後、自衛官(曹長)となり、幹部候補生としての教育(約1年)を受けた後、幹部自衛官(3尉)となる。
高等学校など		航空学生 海上・航空自衛隊のパイロット・戦術航空士養成コース。課程修了後、幹部候補生を経て、幹部自衛官(3尉)となる(採用から約6年)。高校卒業後、最も早く機長として活躍できる。
		防衛医科大学校 医学科学生 医師である幹部自衛官を養成するコース(6年)。卒業後、自衛官(曹長)となり、医師免許を取得した後、幹部候補生(約6週間)を経て、幹部自衛官(2尉)となる。
		防衛医科大学校 看護学科学生 保健師・看護師である幹部自衛官を養成するコース(4年)。保健師・看護師免許を取得した後、幹部候補生を経て、幹部自衛官(3尉)となる。
		一般曹候補生 (非任期制自衛官) 部隊の中核である曹を養成するコース。陸・海・空の各部隊で経験を積み、入隊後2年9か月以降、選考により3曹に昇任する。
		自衛官候補生 (任期制自衛官) 2~3年の任期がある自衛官(士)コース。任期終了後は、民間企業に就職したり、任期を継続することができる。さらに、選抜試験に合格すれば曹に進むことができる。
中学校など		陸上自衛隊 高等工科学校生徒 陸上自衛隊の曹を養成するコース(3年)。卒業後、自衛官(士長)となり、約1年後に3曹に昇任する。



詳しくは、省HPの「自衛官募集ホームページ」をご覧ください。
<http://www.mod.go.jp/gsdj/jieikanbosyu/>



携帯・スマートフォンは
こちらから！

対象年齢	自衛官候補生	2士	1士	士長	3曹	2曹	1曹	曹長	3尉	2尉
	学生（防衛大学校、防衛医科大学校及び高等工科大学校）									
22歳以上 26歳未満 ※院卒者試験は 20歳以上 28歳未満								入隊 任官	幹部候補生学校 （約1年）	昇任
18歳以上 21歳未満	入校	4年で卒業後、自衛官（曹長）に任命					卒業 任官	幹部候補生学校 （約1年）	昇任	
18歳以上 21歳未満		入隊 任官	航空学生課程（約2年） 修了後3曹に昇任		昇任	飛行幹部候補生（約4年）			昇任	
18歳以上 21歳未満	入校	6年で卒業後、自衛官（曹長）に任命					卒業 任官	幹部候補生学校 （約6週間）	昇任	医師国家 試験合格者
18歳以上 21歳未満	入校	4年で卒業後、自衛官（曹長）に任命					卒業 任官	幹部候補生学校	昇任	保健師・看護師 国家試験合格者
18歳以上 27歳未満		入隊 任官	2年9か月後、選考 により3曹に昇任		昇任	幹部候補生試験に 合格したら幹部へ				
18歳以上 27歳未満	入隊	任官	1任期は 2~3年		任期 満了	曹への昇任試験に 合格したら曹へ		幹部候補生試験に 合格したら幹部へ		退職
	3か月の教育後、 自衛官（2士）に任命				任期 継続	任期継続後は、2年の任期				
17歳未満の 男子	入校	3年で卒業後、 自衛官（士長）に任命		卒業 任官	昇任	幹部候補生試験に 合格したら幹部へ				
					選考により3曹へ					

防衛大学校

防衛大学校（「防大」）は、神奈川県横須賀市に所在し、将来、陸・海・空自衛隊の幹部自衛官となる人材を育成する教育機関です。卒業後、自衛官（曹長）に任官し、各自衛隊の幹部候補生学校で1年間の教育訓練を受けた後、幹部自衛官（3尉）となります。



教育課程

教養教育、外国語、体育、専門基礎の科目と専門科目（人文・社会科学専攻又は理工学部専攻）のほか、防大独自の防衛学（防衛に関する学術分野）の教育を行います。

国際交流

- ・ 幹部自衛官として必要な国際的視野を養うため、3・4年学生を対象に、年間約40名が各国士官学校に留学しています。また、各国士官候補生を留学生として積極的に受入れています。
- ・ 防大主催で毎年、「国際士官候補生会議」を開催し、各国士官候補生と国際情勢や安全保障に関する討議を行っています。



訓練課程

主に1年で履修する「共通訓練」と、陸・海・空自要員別に2年から履修する「専門訓練」があります。

区別	科目	
共通訓練	部隊見学、基本訓練、射撃訓練、遠泳訓練（夏）、スキー訓練（冬）、硫黄島研修等	
専門訓練	陸上要員訓練	射撃、戦闘訓練、部隊研修、指揮・運用などの部隊演習等
	海上要員訓練	カッター・クルーザー・ヨット訓練、乗艦実習、航空部隊実習、機動艇による巡航訓練等
	航空要員訓練	グライダー訓練、航法、気象、戦闘機部隊・航空管制部隊実習、等



陸：戦闘訓練の様子



海：ヨット訓練の様子



空：グライダー訓練の様子

年間行事

「学び、鍛え、親睦を深める」をモットーに、年間を通して多彩な行事が行われています。



※作業服に半長靴、背のう、水筒等約10kgの装備を身につけて7kmのコースを8名1チームの集団で走るタイムレース

学生の1日

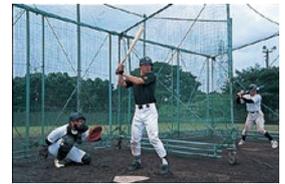


06:00 起床
06:55 朝食
08:00 国旗掲揚
08:10 課業行進
08:30 午前授業
12:00 昼食
13:15 午後授業
16:25 校友会活動
17:30 国旗降下
18:15 夕食
20:00 自習
22:30 消灯



校友会活動

校友会活動（クラブ活動）も盛んで、全員が加入し、友情や気力・体力、連帯感を養います。



待遇

- ・身分：特別職国家公務員 ※自衛官ではありません。
- ・手当：学生手当 月111,800円（平成28年4月現在）
期末手当 年2回（6月、12月）
- ・住居等：学生舎で生活（無料）、食事・被服等は支給又は貸与
- ・休暇：週休2日制、祝日、年末年始特別休暇等

幹部候補生学校

陸海空の各自衛隊幹部候補生学校は、初級幹部に必要な知識と技能を習得し、幹部としての資質を養う幹部自衛官養成機関です。自衛官（曹長）として採用され、1年間の教育訓練を受けた後、幹部自衛官（3尉）となり、全国の駐屯地・基地などで勤務します。



陸上自衛隊幹部候補生学校
（福岡県久留米市）



海上自衛隊幹部候補生学校
（広島県江田島市）



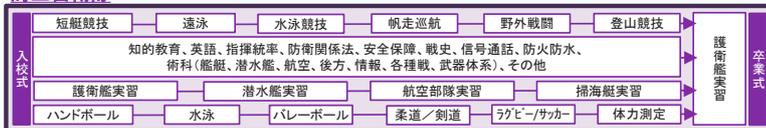
航空自衛隊幹部候補生学校
（奈良県奈良市）

教育課程

陸上自衛隊



海上自衛隊



航空自衛隊



待遇

- ・身分：特別職国家公務員
- ・給与：月額220,300円（平成28年4月現在）
※採用時の給与は、試験区分、大卒・院卒等により異なります。
- ・賞与：期末・勤勉手当 年2回（6月、12月）

航空学生

航空学生は、航空自衛隊のパイロット、海上自衛隊のパイロット及び戦術航空士を養成する制度です。採用後、航空学生課程で約2年間の基礎教育を受けた後、飛行幹部候補生に進み、約2年間の飛行訓練[※]を経てパイロットの国家資格を取得します。その後、さらに機種別（戦闘機、輸送機、救難機）の飛行訓練を受けた後、全国の航空機部隊で訓練を積み、採用から約6年で幹部自衛官（3尉）となります。
※海自パイロットは、この時点で回転翼、固定翼、戦術航空士に分かれて教育を実施。

待遇

- ・身分：特別職国家公務員
- ・給与：月額164,700円（平成28年4月現在）
※採用時の給与は、採用予定者の経験等により異なります。
- ・賞与：期末・勤勉手当 年2回（6月、12月）



海上自衛隊航空学生の教育状況



航空自衛隊航空学生の教育状況

防衛医科大学校

防衛医科大学校（「防衛医大」）は、埼玉県所沢市に所在し、将来、医師・保健師・看護師である幹部自衛官となる人材を育成する教育機関です。一般の医科大学、看護系大学など同様の教育に加え、独自の防衛医学、防衛看護学の教育を行うとともに、将来、幹部自衛官となるための基礎的な教育訓練を行います。

医学科学生は、卒業後、自衛官（曹長）に任官し、各自衛隊の幹部候補生学校で教育訓練（約6週間）を受けた後、防衛医大病院や自衛隊の病院で初任実務者研修（2年間）を行い、その後、自衛隊の病院や部隊で勤務します。



5月下旬の「体育祭」



10月の「並木祭」(学校祭)

講演会やライブのほか、医学研究セミナー、看護研究展示などの催しで盛り上がります！

医学科学生

国際交流

- ・ 1・2年で行われる進学課程（一般教育、外国語、保健体育、基礎教育）と、1年後半から6年で行われる専門課程（基礎医学と臨床医学の講義、実習、病院実習）があります。
- ・ 卒業後の教育も、初任実務研修や専門研修、医学研究科における教育など、医官としてより高度な研さんを積む機会が充実しています。



訓練課程

幹部自衛官として必要な基礎的資質や技能を育成するため、基礎的教育、基本教練（徒歩教練、体育一般、水泳、スキー等）及び部隊実習を防衛医大及び各自衛隊の部隊で行います。

卒業後のキャリアパス



学生生活など

学生の1日



- 06:00 起床
- 06:55 朝食
- 08:00 国旗掲揚
- 08:10 課業行進
- 08:30 午前授業
- 12:00 昼食
- 13:15 午後授業
- 16:25 校友会活動
- 17:30 国旗降下
- 18:15 夕食
- 20:00 自習
- 22:30 消灯



学友会活動

学友会活動（クラブ活動）も盛んで、原則全員が加入し、看護学科と合同で練習を行っています。



待遇

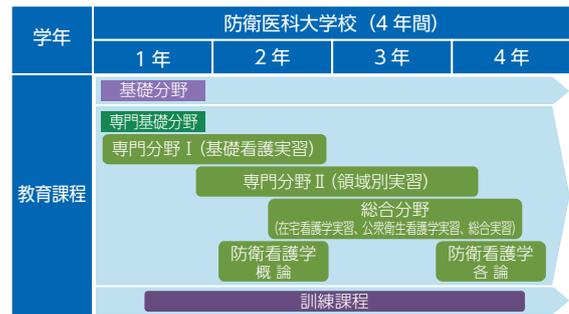
- ・身分：特別職国家公務員 ※自衛官ではありません。
- ・手当：学生手当 月111,800円（平成28年4月現在）
期末手当 年2回（6月、12月）
- ・住居等：学生舎で生活（無料）、食事・被服等は支給又は貸与
- ・休暇：週休2日制、祝日、年末年始特別休暇等
- ・卒業後9年未満で離職する場合は、卒業までの経費の償還義務あり

看護学科学生

看護学科には、「自衛官候補看護学生」と「技官候補看護学生」の2つのコースがあります。「自衛官候補看護学生」は、卒業後、各自衛隊の幹部候補生学校等で教育訓練を受け、幹部自衛官（3尉）として全国の自衛隊病院や衛生部隊などで勤務します。「技官候補看護学生」は、卒業後、技官として防衛医科大学学校病院で勤務します。

教育課程・訓練課程

- ・一般教養科目や災害看護論、感染症看護論、公衆衛生看護学などのほか、独自の防衛看護学など、特色ある教育を行っています。
- ・また、「自衛官候補看護学生」は、幹部自衛官として必要な基礎的資質や技能を育成するため、基礎的教育、基本教練及び部隊実習を防衛医大及び各自衛隊の部隊で行います。



学生生活など

学生の1日



- 06:00 起床
- 06:55 朝食
- 08:00 国旗掲揚
- 08:10 課業行進
- 08:30 午前授業
- 12:00 昼食
- 13:15 午後授業
- 16:25 校友会活動
- 17:30 国旗降下
- 18:15 夕食
- 20:00 自習
- 22:30 消灯



待遇

- 自衛官候補看護学生
 - ・身分：特別職国家公務員*
 - ・手当：学生手当 月111,800円（平成28年4月現在）
期末手当 年2回（6月、12月）
 - ・住居等：学生舎で生活（無料）
- 技官候補看護学生
 - ・身分：特別職国家公務員（非常勤職員）*
 - ・手当：非常勤職員手当 時給860円程度
（平成28年4月現在）
 - ・住居等：希望者のみ学生舎で生活

（以下、自衛官候補看護学生・技官候補看護学生共通）

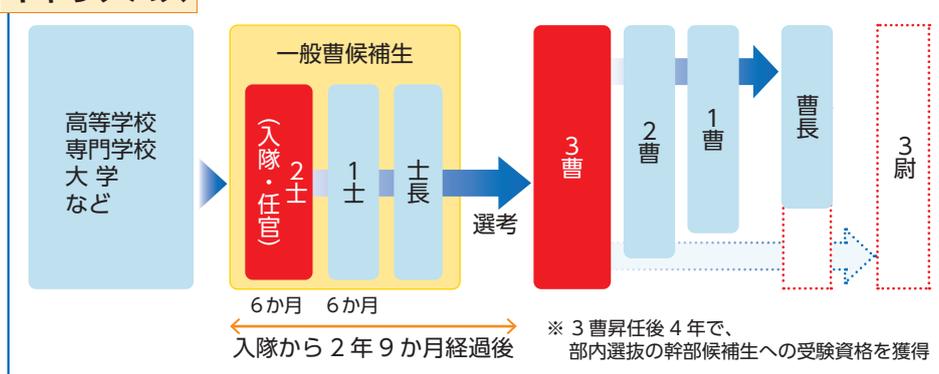
- ・食事・被服等：支給又は貸与
- ・休暇：週休2日制、祝日、年末年始特別休暇等
- ・卒業後6年未満で離職する場合は、卒業までの経費の償還義務あり

※自衛官候補看護学生・技官候補看護学生ともに自衛官ではありません。

一般曹候補生(非任期制自衛官)

一般曹候補生は、部隊の基幹要員である陸・海・空曹自衛官を養成する制度です。入隊後、教育課程や部隊勤務で知識や経験を積み、2年9か月以降、選考により3曹へ昇任します。

キャリアパス



待遇

- ・身分：特別職国家公務員
- ・初任給：月額164,700円
(平成28年4月現在)
- ・期末・勤勉手当：年2回
(6月、12月)
- ・その他：宿舎は無料、
食事・被服等は支給又は貸与

教育課程

一般曹候補生は、2士として採用後、各自衛隊の教育隊で自衛官としての基本知識や職種・職域(専門分野)に必要な知識・技能習得のための基本的な教育訓練を受けた後、全国の各自衛隊の部隊で勤務します。



高等工科大学

陸上自衛隊高等工科大学は神奈川県横須賀市に所在し、将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を運用する自衛官となる者を養成するための学校です。



教育内容

高校と同等の教育を行う「一般教育」、自衛隊の専門的技術の教育を行う「専門教育」、陸上自衛官として必要な防衛教養や各種訓練を行う「防衛基礎学」を主に実施し、陸上自衛官として将来活躍できる基礎を作ります。

学校生活

- ・校内の仲間との団体生活やクラブ活動(体育系：19種、文化系：14種など)で絆や自律心、協調性などを養います。
- ・様々な行事や研修、修学旅行があり、学校生活を一層豊かなものにします。

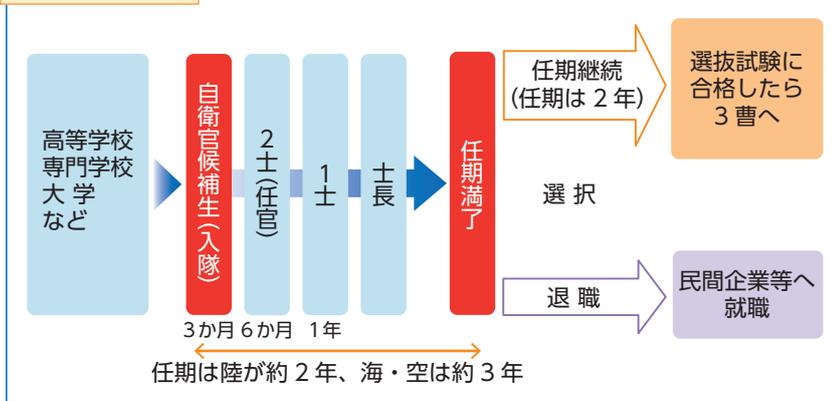
待遇

- ・身分：特別職国家公務員
※自衛官ではありません。
- ・手当：月額98,500円
(平成28年4月現在)
- ・期末手当：年2回(6月、12月)
- ・その他：宿舎は無料、食事・被服等は支給又は貸与

自衛官候補生(任期制自衛官)

自衛官候補生は、任期（勤務期間）を定められた自衛官であり、各種教育訓練などにより、技術の習得や資格の取得を行い、専門性を磨きます。任期満了後、選考により任期を継続して曹を目指すか、退職して民間企業等に就職するかを選択することができ、希望に合わせたキャリアプランが描ける制度です。

キャリアパス



待遇

- ・手当：月額129,300円^{※1}(自衛官候補生)
- ・俸給(任官後)：月額164,700円^{※1}(2士)
- ・期末・勤勉手当^{※2}：年2回(6月、12月)
- ・特別退職手当^{※1}：任期満了毎に支給

	陸上自衛官	海上・航空自衛官
1任期 ^{※3}	約56万円	約92万円
2任期	約141万円	約147万円
累計	約197万円	約239万円

- ・その他：宿舍は無料、食事・被服等は支給又は貸与

※1 平成28年4月現在

※2 自衛官候補生(任官前)には支給されません。

※3 陸は約2年、海・空は約3年

教育課程

自衛官候補生は、採用後、約3か月間、各自衛隊の教育隊や学校で自衛官として必要な基礎的事項についての教育訓練を受けます。その後、2士として自衛官に任官し、職種・職域(専門分野)に必要な基礎的知識、技能習得のための教育訓練を受けた後、全国の各自衛隊の部隊で勤務します。



任期満了で退職を希望する場合の就職援護(一例)



職業訓練として、職務を通じて習得する専門的技能に加え、再就職に必要な資格の取得を目指し、約50種類の技能訓練(大型自動車(特殊・2種)、自動車整備士、介護職員初任者研修、パソコン基礎等)を実施しています。警察・消防など、他の公務員試験の受験を希望する隊員に対しては、公的部門受験対策講座(1～2か月間)を実施しています。